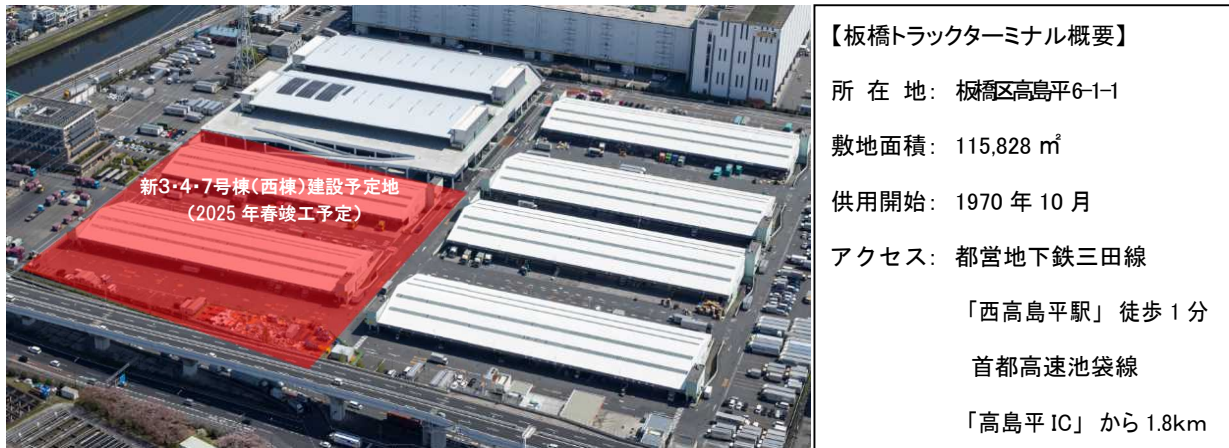


2023 年 6 月 27 日

「JMT板橋新3・4・7号棟（西棟）」建設 2023 年 8 月に着手します



JMT板橋新3・4・7号棟（西棟）建設予定地

日本自動車ターミナル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田裕司）は、板橋トラックターミナル（板橋区高島平）全体再開発の第一弾として建設した二層式バース専用施設「JMT板橋新1・2・5・6号棟（東棟）」に続き、2023 年 8 月より「JMT板橋新3・4・7号棟（西棟）」の建設に着手することといたしました。

この度の板橋トラックターミナル全体再開発では、トラックターミナルの基本機能であるバース施設を優先的に更新するため、特別積合せ貨物運送事業各社への負担軽減と早期の新施設提供を目指し、二層式バース専用施設とすることで、工事期間を大幅に短縮いたしました。

柱などの障害物を可能な限り抑えることで使い易い施設とするとともに、接車部にはシャッターを設置し、風雨対策やセキュリティ面での向上も図っております。また、構内テナント各社における事業連携・共同化に貢献できる施設となることも目指しております。

2023 年 8 月から既存の荷扱場 1・2 号棟を取壊し、跡地に建設する「JMT板橋新3・4・7号棟（西棟）」は 2025 年春の竣工を予定しております。

なお、構内南側となる 5 号棟から 8 号棟の跡地の計画については、今後の物流ニーズと需要動向を鑑みながら、改めて検討して参ります。

今後も日本自動車ターミナル株式会社は、首都「東京」が抱える物流の課題に応える大都市物流戦略「メトロポリタン・ロジスティクス※」の具現化に向けたトラックターミナルの再開発を進めてまいります。

※首都圏における物流拠点に求められる 4 つのアドバンテージ ①リードタイム（配送時間の短縮）②レイバー（労働力確保）③キャリアリンク（輸送モードの連携）④コンティニュイティ（事業継続）を備えた施設

以上